

3類型	農林水産物	通巻番号	7-20-021
地域資源名	タチウオ	認定日	平成21年2月17日
地域	愛媛県今治市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

**事業名：タチウオを主原料とする瀬戸内の魚介類を活用したペットフードの開発・製造・販売**

会社名：有限会社イチヤ  
 連絡先：TEL：0898-36-6818  
 FAX：0898-47-6018

所在地：愛媛県今治市喜田村4丁目5-33  
 HP：http://www.ichiya-inc.com/

**事業概要(新たな活用の視点)**

- ・今治市は複数の漁港を有しており、瀬戸内海のあらゆる魚が水揚げされ、特に「タチウオ」は瀬戸内海沖で多く漁獲されており、鮮魚及び加工品として出荷されている。一方、水産資源の減少や後継者不足、漁価の低迷という問題を抱え、漁業経営は非常に厳しい状況となっている。
- ・魚介類を使用したペットフードの開発について、既存取引先から要請を受け、瀬戸内海産100%素材に特化したペットフードの商品化・事業化を目指し本事業へ着手した。
- ・タチウオを主原料とした、瀬戸内海で獲れる魚介類を丸ごと有効活用し、乾燥粉碎等の加工を施し無添加で、栄養価の高い栄養補助食品の開発を行う。また、地区内小規模漁師が規格外のタチウオを海に廃棄している現状において、買取りが可能となり漁業者の収益の向上が可能となる。

**売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)**

◆競争力

- ・ドライタイプと併用した栄養補助フードとしての機能を発揮することにより差別化が図れる。また、犬の食いつきや安全性、栄養素、価格などの各点で継続して購入されるようニーズにマッチした魅力ある商品づくりを目指すことで市場での優位性を保つことができる。

◆市場性

- ・ペットブームを背景に、日本国内のペットフード市場は、2006年、年間2,667億円となっている。また、ペットの“高齢化”や“健康志向”をキーワードとした高機能訴求型フードへ需要がシフトしており、プレミアムフード市場とともにニーズは高まっていくと推測される。

◆販路

- ・展示会出展やHPの拡充により露出を高め積極的に商品のPRを図っていく。また、都市圏のペットショップや動物病院及びDIY、ネット通販会社との契約や自社ネット販売サイトの立ち上げ等により販路を拡大していく。



**地域資源における関係事業者との連携**

- ・今治地域の漁協並びに漁業者から「タチウオ」をはじめとする鮮魚の供給を受ける。